

令和8年度 失語症者向け意思疎通支援者養成講習会受講申込書

標記講習会の募集要領に基づき、受講を申し込みます。

締切 令和8年3月28日 23:59

郵送の場合 3月21日(当日消印有効)

		記入日	令和 8 年 3 月 8 日	
ふりがな	とうきょう いしこ		生年月日	昭和 平成
氏名	東京 意思子			○年 △月 □日(×歳)
		職業	会社員	
住所	〒123-4567 東京 都景 ○○ 区市町村 ××町△丁目○-○ △△マンション101号			
電話番号	03-1234-5678		E-mail	is●hi●.tokyo@ho●mail.co.jp
FAX	同上			
勤務先(学生の場合は学校名)	株式会社 ○○○○			
勤務先住所(学校住所)	〒321-9876 東京都△△区××町○丁目○-○			
修了後 活動可能な曜日・時間帯	<input checked="" type="checkbox"/> 平日昼間 <input checked="" type="checkbox"/> 平日夕方 <input type="checkbox"/> 土日昼間 <input type="checkbox"/> 土日夕方 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その他()			
1. 必修基礎コースを受講して学んだこと(200字程度)				
講義や実習を通して、失語症の方への話し方や、話すときの注意点を学びました。				
今までは、失語症の方が私に上手く伝えられないとき、どのように聞いたらよいかわからず、たくさん言葉で質問してしまい、失語症の方が話すことを諦めてしまいました。				
また、私が失語症の方に伝える際にも、上手く伝わらないと、苦笑いで「いいや」と言われることがありました。				
失語症の方と話すときなどは、文字の使い方や絵・図など 言葉以外の本人が望むコミュニケーション方法を一緒に考え、探し出すことの重要性を学びました。				
2. 応用コースの受講志望動機(200字程度)				
実習先のサロンに行った際に、必修基礎コースで学んだことを活かして失語症の方とコミュニケーションをとったところ、上手く伝え合うことができました。その時、失語症の方が喜んでる姿を見て、私も凄く嬉しい気持ちになりました。				
しかし、失語症の方の障害程度はさまざまであり生活環境も異なるため、失語症のある方が日常生活で困る場面が多く、ニーズも多様化していることを実感しました。				
このため、必修基礎コースで得た知識や実習の経験などを基に、応用コースですらに経験を積み、失語症のある方の多様なニーズに応え、一緒に伝え合える喜びを共有したいと思い、志望しました。				

御記入いただいた内容は当会の個人情報保護方針に基づき講習会実施の目的以外には利用いたしません。

事業実施主体：東京都・八王子市
事業運営主体：一般社団法人東京都言語聴覚士会